



「輝かしい自立の年の始めに」

新年のごあいさつ 村長 本多伸吉

待望の講和条約は結ばれ、批准の手續も了り、今や獨立自主日本として、世界の平和と人類の幸福に貢献すべき希望に満ちた新春を迎えまして、誠にめでたうございます。

記念すべき二十六年は、私の就任第一年目として日夜御期待に添いますよう全力を傾けたのであります。幸い各位の絶大な御支援を頂き、社会教育のセンター公民館は運営優良の表彰をうけ、且新生活モデル町村として県下第二位の折紙を授けられ、聊か私の理想とする明朗で文化の香り豊かな郷土の建設に力強く第一歩を踏み出すことができました。心から感謝している次第であります。

本村に於ても、各方面に渡りなすべき重要な仕事は多々ありますが、先ず講和を契機として、近頃純農村経済から漸次商工経済へ推移発展しつつある村勢に鑑み、旧服議事に諮り満場一致の協賛を経て、茲に町制施行を記念事業の第一に計画しました。これが推進に皆様の力強い御協力をお願いすると共に、一層渾身の努力を捧げる覚悟でございます。

第 2 2 號

發行所 郡民館 額田町 愛知縣 幸田郡 幸田町 印刷所 岡崎活版所

昭和26年産米供出成績表 25-12-28 (単位表)

部落名	供出割当数量	出荷数量	進出率%
長久坂	741.75	567	76.4
久保	713.50	316	44.3
坂時	2,643.25	1,677	63.4
大草	2,184.50	1,406	64.4
高力	1,154.50	952	82.5
鷺田	1,157.50	833	71.9
東部	726.25	561	77.2
新田	881.00	803	91.1
岩堀	1,793.25	1,484	82.8
横落	115.75	77	66.5
萩	945.00	746	78.9
戸谷	399.25	313	78.4
幸田	57.00	28	49.1
市場	496.50	379	76.5
里	482.75	396	82.0
海谷	277.50	250	90.1
合計	14,768.25	10,788	73

投票区	区域	男	女	計
第一	長久坂	84	100	184
	久保	93	99	192
	計	334	366	700
第二	大草	362	425	787
	草力	141	156	297
	計	503	581	1,084
第三	鷺田	237	247	484
	新田	51	58	109
	計	288	305	593
第四	萩	172	195	367
	岩堀	206	255	461
	計	218	261	479
第五	里	229	238	467
	海市	131	163	294
	計	265	292	557
第六	岩堀	386	428	814
	横落	77	75	152
	計	59	463	522
合計		3,045	2,821	6,866

基本選挙人名簿登載者数 (昭和二十六年十二月二十日確定)



農産物総合

品評会について

第二回農産物総合品評会開催に当り村民各位特に各農業協同組合の絶大な御協力と中学校職員生徒諸氏の理解ある御盡力により昨年以上の成績をあげ無事終了した事を心から厚く御禮申し上げます。尙来年も開催する予定ですが二回の体験を基盤に一層の奮勵と御支援を重ねて懇願する次第です。

種別 部落名	出品点数			入賞点数							計	%
	農産物	養蠶	計	優	一等	二等	三等	四等	計			
長嶺	44	0	44	1	1	2	3	2	9	20.5		
久保田	70	3	73					2	9	15.0		
坂崎	184	3	187	1	3	8	15	6	33	17.6		
大草	200	5	205		4	10	13	22	49	23.9		
高力	143	9	152		2	3	7	2	14	9.2		
鷲田	83	4	87		1	4	4	6	15	18.3		
東都	48	5	53	1		1	3	1	6	11.3		
新田	22	4	26			1	3	1	5	19.2		
岩堀	96	28	124					1	8	9	7.2	
横落	11	4	15			1			1	6.6		
萩谷	143	9	152		1	5	1	9	16	10.5		
芦谷	94	0	94	2	1	4	9	7	23	24.5		
幸田		0	14		1				1	7.1		
里	80	17	97		3	1	7	5	16	16.5		
市場	40	12	52		1		3	7	11	21.1		
海谷	51	18	69		5	7	12	7	31	44.9		
4H	60	0	60		1	3	6	6	16	26.6		
計	1383	121	1504	5	24	50	89	98	266	17.6		

優等賞  
 玄米 長嶺 中村 賢治  
 大豆 芦谷 太田 あきえ  
 白菜 芦谷 太田 一夫  
 大根 坂崎 山本 信逸  
 人蔘 東都 石川 峯治  
 蠶繭 深溝 大草 磯部 磯一  
 伊奈 権一



養蠶部の反省

蠶繭は二十六年晩秋蠶繭三十匁を一人一点の出品で審査は養蠶の特性を活かし現物の他に養蠶規模(通年蠶繭額)や桑園能率(反省收購量)の審査を行いその総合成績によつた今後特に改良すべき点は現物審査では余り厳選しすぎて荷口を代表していないものがあるから注意する。次に養蠶規模では一般に経営の小さい事と初秋蠶飼育が行われないのが遺憾である。(本県奨励方針一戸当桑園経営面積三反歩産繭目標七六貫本村興業計画は三反歩、七五貫)今後養蠶経営の一環として耕地経営面積と家庭労働等を充分考慮の上擴充強化を図る事が肝心と思ふ。最後に桑園能率は最高三十四貫七百三十匁の優秀を示したが平均二十五貫以上確保の努力が望ましい。但し急激な能率増進を図り謀作に無理を生じないよう、稚蠶専用桑園を絶対条件として肥培管理を期する事が望ましい。

一年の始めの  
 家族会議には—  
 生活改善の計画を  
 たてましょう!

就学のおしらせ

本年四月一日就学の始期に達し、小学校へ入学するのは昭和二十年四月二日生まれから昭和二十一年四月一日生まれまで病気で就学の猶予や免除をされる方は学務課へ御相談下さい。本籍地以外で寄留未済の方は戸籍係へ寄留届を出して下さい。

幸青協だより

◎郡生活改善発表会 (十二月二十三日)  
 農民の衣服について 小山愛華  
 日々のくらし 林 かね  
 衣服の更生について 長田ふみお  
 右三嬢出場し、長田嬢は第四位に入賞した。

◎郡卓球大会 (十二月二十四日)  
 第一位の榮冠をかちえた。  
 二位は山中村、三位は下山村

◎村産業振興大会 (十二月二十九日)  
 一位 坂崎 小林 連行  
 三毛作田に於ける胡瓜の栽培  
 二位 大草 羽根淵常茂  
 養鶏について  
 三位 長嶺 中村 丞  
 田畑の輪換栽培



### 今年の農業改良

### 普及事業について

黒柳

昭和二十七年の新春を迎えるに当り、農業改良普及員として昨年し殘した幾多の問題につき「あゝもしたところもしたい」と色々慾望にかられるが一朝一夕には解決しない。願て特に考えさせられる点を二三申し述べて見たい。

先ず第一に稲作では昨年異状な天候に見まわれ過去の稲栽培上の缺陷をはつきり見せつけられたような気がする。即ち肥料は私の推定によれば栽培面積の七割位は窒素過多で、それが原因で地力が伴わなかつたり品種の選擇を誤つた所は倒伏したり穂首稻熱病に見まわれた。これについては稲作技術の第一歩である品種の選擇或は特性、地力の培養又は増進、施肥の改善等々只單に年々くり返される普及員の念佛位に思われないでもつと痛切に考えてほしい。これは何十年來いわれている事で稲作のいろはの「い」の字だがさてそれが解つたようで解らない人が多い。解らないのも無理はないかも知れないそれは従来の技術員は「こうすれば

良いあゝすれば良い」といつても實際農家の皆さんと共に圃場に立つて此の田ではどうしたらよいかという具体的な問題を捉えて考えた事がなければ普及事業も其の点に目標をおいてやつていのが農業会技術員や奨励員のやり方と別の方向をとつてゐる所以です。そこで皆さんに考えてもらふ事は普及員だけに考えさせないで一緒に考えるのです。無関心な農業者とは相談の仕方がなくなつてまるで普及員は便利御用達見たいになつてしまふ、普及員を高等小使や便利屋にしないで本場に普及事業の効果を上げるよう皆さんがより深く関心を持つた上で普及員と共に研究して行きたい、本年こそ肥料や品種の展示を皆さんの圃場を借り、目の前では是非やつて見たいと考えてい

る。第二は労働生産性の問題です。私は鎌や鎌を持つて朝早くから夜遅くまで働き続ける皆さんを見る毎に昔ながらの農民の勤勞性を表現した美しい姿だと思ふ、併し私達は今迄それによりにも自己禮讓しすぎていたのではないのでしょうか？外国では農業労働がほとんど能率化され、農夫一人の生産量は年々増加し莫大なるに反し日本では一向進歩せず未だに農業者の労働過重が問題になつてゐる、現在試験場で試験された農具の中にも又各地で実験された農法の中からも総合して本村に適したやり方はいくらもあると思ふ、それを皆さんと研究して取り入れる事ができれば従来の美しい農村勤勞の姿は農民の無能表現の惨めな姿と変わるであらう、現在でも一歩進んだ人から見れば牛馬や機械の仕事人間が横取りしてゐるとしか考えないでしょう。稲や麥の反收の限度は大休想像がつく、勞力の節約こそ未開の農業技術の分野です、これがある程度改良しなくては経営分理の基礎は築けな

い、この試みも是非やつて見たい。第三に農村青少年クラブの育成と農事研究会の助長である。これは農業改良普及事業の最大眼目として考へる事で普及事業とは何かと強いて定義付ければ「農民の教育事業でありそれは單なる教育でなく農業行政の一環としての教育である。」従つて其の教育を通じて産業的效果を上げる事を併せて期待するのである。過去における奨励事業は皆産業効果を上げる手段として補助金政策をとつて来たのでその殆どが現在効果を上げていない、普及事業は人を中心に産業効果を期待してゐるのでその中堅となる研究グループの育成助長に重点を置きたいと考へる、それも従来の何々研究会といつた行き方と異なり會員各自の責任分担の上になつた同志的結合体で行いたいと思ふ。

### 社会学級のうた

- ① ひるの仕事のひと時さいて  
老いも若きも 男子も女子も  
いそむ社会学級は 道しるべ。
- ② 民主日本の 人つれだつて  
農工商の 別なく学ぶ  
われらの社会学級は 道しるべ。
- ③ 文化日本の 道しるべ。
- ④ 次の講座も みんなできめて  
僕わたしの おいらのわしの  
楽しい社会学級は 道しるべ。

平和日本の 道しるべ。





### 愛知県立中央図書館 貸出文庫の閲覧規定

- 第一条 幸田村公民館は、愛知県立中央図書館貸出文庫の貸與をうけて、村民全般の閲覧に供する。
- 第二条 貸出文庫の管理者は、公民館長とする。
- 第三条 貸出文庫の閲覧事務一切を係員若干名に掌らせる。
- 第四条 貸出文庫の閲覧は、無料とする。
- 第五条 貸出文庫管理者は、貸與期間中「愛知県立中央図書館貸出文庫閲覧所」の標札を掲げると共にその図書目録を掲示して、周知徹底を図る。
- 第六条 貸出文庫は、貸出期間中毎日午前十時より午後四時まで公民館図書室で閲覧させる。但し、都合により時間を変更し又は中止することがある。
- 第七条 貸出文庫の閲覧は、前条に定めるほか、管理者が適当と認められた時は、帯出閲覧させることができる。
- 第八条 貸出文庫の貸與期間中、圖書の亡失汚損等があつた時は、管理者に就て、同一図書又は相当の代償の責任を負うものとする。

#### 附 則

帯出閲覧についての規定は別に之を定める。

#### 貸出文庫帯出閲覧規定

- 一、対象 公民館分館又は青年団婦人会等、団体を主体とする。
  - 二、期間 十日以内とし、必要ある時は期間中でも返納させる。
  - 三、貸出 月、木の午前十時から午後二時までとし、都合により変更することがある。
  - 四、責任 貸與期間中はその団体で全責任を負うて大切に取扱ひ、若し汚損又は亡失した時は同一圖書を購入して返済すること。
  - 五、その他 詳細については直接係に尋ねること。
- 愛知県立中央図書館貸出文庫図書係  
主任、幸田村公民館主事 志賀又郎

#### お互いに 書物を大切に

- ページのはしを折つたり
- 文字をかきこんだり
- つばをつけてページをめくつたり
- 日光に直射させたり
- 火鉢にかざしてよんだり
- 本を開いた上で物を食べたり
- ふけや汚いものを落したり
- ……せぬよう。

### 貸出文庫圖書目録

愛知県立中央図書館

#### 第二三六号A

- 1. 宗教は人類を救い得るか
- 2. 近衛公秘聞
- 3. グラフの作り方見方
- 4. 恐るべき学校
- 5. 農村青年男女の問題
- 6. 農用発動機と電動機
- 7. 醜聞
- 8. 宮本百合子選集 第十卷
- 9. 獅子文六選集
- 10. 半七捕物帳 第二卷
- 11. 大学 他四篇
- 12. 喘ぐ白鳥
- 13. うつせみ
- 14. 花嫁の父親
- 15. 蛇の穴
- 16. 私たちの見た社会
- 17. フアブル物語
- 18. アンデルセン童話集
- 19. 三つの虹
- 20. 女学生の手記芽生えゆくもの
- 21. バルフォアの冒険
- 22. 新浦島物語
- 23. 町村の読書施設とその運営
- 24. たのしい手藝
- 25. 菊地寛作品集 短篇小説 13
- 26. 偉人物語
- 27. 少年動物物語
- 28. むく島のゆめ
- 29. 草原の小さな家

- 30. 瓢たんなます
  - 31. 佛教と藝術
  - 32. 第二次大戦回顧録 6
  - 33. 近世の大技術者
  - 34. 誰にもわかる肥料の知識
  - 35. 名人戯まで
  - 36. 創作代表選集 6
  - 37. 新書太閤記 第五卷
  - 38. 気遣い部落周游紀行 決定版
  - 39. 隨筆宮本武蔵
  - 40. ガーテ希望の書
  - 41. ナイチンゲール
  - 42. さあやつてごらん
  - 43. 世界各作選 2
  - 44. サンタクローズの本
- (貸與期間 二十六年十二月中旬より  
二十七年三月中旬まで)

#### 名 刺

明治初期に西歐の慣習を受入れて現在の名刺が出来た。紙質は洋風では雪白の洋紙が正式、鳥の子も可。着色、模様入、金縁等は上品ではない。書体は楷書(清朝、明朝、宋朝)で印刷したもの。手書したものは正しくない。訪問の趣旨を表すために角を折り返す慣習がある。右上方(自身訪問用)左上方(祝賀用)左下角(弔問用)等である。

郷土史料 (その二十) 人物伝 一 志賀又郎

高力清長

高力清長、初の字は新三、後に與左衛門と稱す。高力村の生まれ、重長の孫なり。僅か六歳にして父安長を喪い、孤となり、叔父重正に鞠養せられ、徳川家康に駿府にて仕う。永祿三年大高の戦に従い、又一向宗の亂に従つて屢々功あり。土呂の敵巢は高力郷と相隣りす。清長命を受け、赴いて之を守り、悉く賊徒が紛散せる佛像経巻を收拾す。亂平いで後皆之を其の故処に返附す。因りて國人清長を目して浮屠(佛)高力と曰う。八年春本多重次及び天野康景と與に奉行職となる。三氏人となり清長は寛厚、重次は勇猛、康景は慎重、互に力を戮せて国家に盡す。故を以て政治大いに行われ、管下庶民悦服す。十一年家康の遠州を徇うるや清長軍に従う。是の時に當りて久野宗能という者久野城に據りて今川氏に通ず。旗強く地險にして力取し難し。清長乃ち宗能歸依の僧可睡齋に通じて、之を招き降す。是に於て國人歎を送り來服するもの多し。味方ヶ原の敗軍に清長劍を被わり、一族従者多く之に死す。天正八年九月

月清長馬伏塚城及び鎌田の地を賜わる。十年明智光秀の信長を本能寺に弑するや、清長家康に界浦に從い輜重を掌りて殿す。時に土冠群起して屢々行路を侵す。清長追撃の際銃に中りて傷つく。漸く糧仗を護りて大演、達す。八月徒りて田中城を守り山西の地を賜わる。十二年命を稟けて京師に往き、家康秀吉と成ぎて行いて禮を修す。十四年秀吉の奏請に因りて從五位下に叙し、河内守に任じ、姓豊臣氏を授けらる。十六年命を受けて聚樂城を経営す。秀吉其の即成の功を嘉みし、国光作の刀を賜う。十八年武藏の岩槻城を賜わり、邑一万石を食み、且殊命を受けて浦和郷の租税一万石を司る。秀吉來りて城に入り、前庭の萩を賞し和歌を詠じて清長に與う。文祿元年家康那古屋の行營に在り。清長に命じて戦艦を造らしむ。家康東府に還る時、清長その費用を答う。家康曰く、汝の淳直なる我何おか疑わんと。清長乃ち私にその費用を算し、余る処の黄金二十枚を返付す。家康曰く、是れ乃ち汝の功なりと、其の金を賜う。慶長十三年正月二十六日卒す。時に年七十九。

高力城墟の碑  
高力熊谷橋南畔十米にあり。明治二十三年祖父志賀藤助の発起により建設し、織田完之の撰文なり。

吉田改造内閣の顔觸れ

Table listing cabinet members: 大臣 氏名, 総理 吉田茂, 外務 池田勇人, 大藏 木村篤太郎, 法務 天野貞祐, 文部 橋本龍伍, 厚生 廣川弘禪, 農林 高橋龍太郎, 運輸 村上義一, 郵政 佐藤栄作, 労働 吉田恵市, 建設 野田卯一, 国務 周東英雄, 国務 岡野清豪, 国務 岡崎勝男, 国務 大橋武夫, 国務 山崎猛, 官房 保利茂三. Includes birth dates and party affiliations.

民俗 松飾・鏡餅

松飾は門松ともい、正月の祝意を表して門前に松と竹とを飾るのをいう。古くは松に椿を添え、近世になり竹を添え更に梅を添えるようになった。之を撤去するに當り、枝の頭を残して立てるのは、古俗に木に霊があるのを信じて、木を伐ればその梢を地に立てておいた鳥糞(とふさ)の名残であろう。

鏡餅を正月の飾物とすることは、古く武家において行われ、これを具足に供え軍神を祀つたことから、一名具足餅の名がある。その飾り方には色々あるが、現今普通に行われるのは、三方に白紙を敷き垂れ、その上に齒朶を載せて鏡餅をおき、橙、海老、昆布、柿等を飾り添える。



賞状

二位 額田郡幸田村殿

審査長 愛知県農林部長 雄川 啓  
右は愛知県愛知県教育委員会読売新聞社共同主催による新生活モデル町の選定において頭書の成績を認めらる、よつて審査長の推薦によりこれを賞する。

昭和二十六年十二月十三日  
愛知県知事 桑原幹根



新生活モデル町村  
に選定され  
栄冠第二位の表彰  
に輝く幸田村

新生活賞

愛知県  
一九五一年選定  
新生活モデル町村

二位 額田郡幸田村殿  
本社主催第一回新生活モデル町村選定と表彰の事業に参加し選定団体として新生活運動の実践に努力した結果頭書の通り優秀な成果を挙げたのでここにこれを表彰する。

一九五一年十一月三日  
読売新聞社

新生活モデル町村に選定され第二位の表彰をうけ、生活改善の叫び、巷に高まる秋、

愛知県と果敢教育委員会並びに読売新聞社の共催で、新生活モデル町村の選定と表彰事業が実施せられ、果敢多数の応募中、生活改善に関するあらゆる方面から審査の結果三十一団体が選定され、更に成績抜群の七団体の表彰を見、本村は第二位の栄冠

賞状

二位 額田郡幸田村

右は愛知県、愛知県教育委員会読売新聞社共同主催による新生活モデル町村の選定と表彰事業に参加して優秀な成績を認められたので頭書の通りこれを賞する。

昭和二十六年十二月十三日  
愛知県教育委員会

を得ました。これは皆様方の日頃生活改善に専心努力された賜で誠に御同慶に堪えない次第でございます。たとえ巨万の富があろうとも、身近な家庭生活や村民生活がみじめであつては真の幸福とは申されません。新春を迎えこの慶びを記念してお互いに人格をみがき一生を幸福に暮すよう、新生活モデル村の真価をあげようではありませんか。



深海の人氣者、  
たつのおとしご はほえみ

造化の神がたつのおとしごを作られた時、その組立には少々念を入れすぎた観がある。このへんでこな生物は、馬のような弓なりに曲つた首と頭、胸高鳩のふくれた胸、物につかまろうとするような猿の尻尾、体色を変えるカメレオンの力、こうした物を兼ね備え、その目は一つずつ別々に動くので、片方の目で水面を見ながら片方の目は水中へ向けることができる。こういう突拍子もない組合せに加えて、更に念のいつたことは、雌には腹側にカンガールのような袋がついていて、その中へ雌が卵を産み落とし、それから子が生まれ出るしかけになつてゐる。

たつのおとしごは、体は小さいが画にかいた龍の形そっくりだから、この名がついたわけだ、海の馬という西洋名よりは、びつたりくると思ふ、その種類は四十種以上もあり、暖流の海なら世界中どこでも見られる普通の海産動物で、一見魚のようでないが完全な魚である。またカモフラージュの名人で、危いという時は周りの色に化けることができる。骨質の板を合せた固い羊皮紙のよう

うな胸鰓で被れているので直立したまま、背中の黄色い縁のついた扇形の小さな鰓をばたつかせて、たえず同じ速さで数字の8の字、ような運動を繰り返して、しやちこば、泳いでいく。だが体に突き刺すうけ、一泡でもガスの胞が体腔から出たが最後、体の比重に狂いができ、あつというまに海底に沈んでしまふ。たつのおとしごの求婚ぶりは、実に異つてゐる。微かな太鼓の音に似た求婚の伴奏に合せて、二十四時間から四十八時間もの間念のいつた求婚ダンスを繰り返しながら、花嫁と花婿はお互いの周りを優美な輪を描いて泳ぎまわり、雌が雄を追いかけ、この二人の舞踏が最高潮に達した時、体をびくびくふるわせながら結婚の抱擁をする。その瞬間、花嫁は体の中にできた卵を、雄の抱卵袋に移すのである。花嫁は煉瓦色の赤い卵を二百から六百位産み移すまで何回でも水中で花婿を抱き、その卵の一つ一つは生み移す瞬間に受精される。花嫁は結婚の務をはたすとのんきにどこか泳いで行つてしまふ凡そ四十五日というもの、父親はだんだんふくれる抱卵袋をかゝえて、子供を育て上げる。

古くからたつのおとしごは人間の心をひきつけてきた動物で、色々な秘密の力があると信じられていた。



養修  
エチケツト  
露子

エチケツトを日本流にいえば禮儀  
ということなのですが、禮儀という  
と日本では何か一部の特権階級にだ  
け使われる社交上の形式のように聞  
えて、野良え出るオラ達にはいらな  
かんべえーと思われる方もあるかと  
存じます。でもエチケツトというの  
は、「社会の道徳を産み出す心づか  
い」というように私は考えたい。  
小笠原流に、座敷を歩く時はすり  
足で、敷居を踏んではいけない等と  
心得ていても、私共はちよつとした  
心遣いが欠けているために、人に随  
分不愉快な思いをさせているような  
事はないでしょうか？例えば、お隣  
で家人の迷惑もかまわず長話をした  
り、電車やバスに乗つた時しすくの  
たれる雨具に気をつけなかつたり、  
人中で大口をあけて咳をしたりする  
ことはありませんか。このようなど  
ちらかといえは、知らず知らずの間  
にやつている事の中にも存外非禮な  
行いをしてる事が多いものです。  
最近修身の復活が問題になつたり  
文部省から、男女交際讀本が出たり  
したことは、それぞれ批判すべき余  
地はあると思ひますが、結局は日本  
人の道徳心が薄れていることを哀書  
しているのではないのでしょうか。

人口動態 (11月)

		累計	141
		(11)	146
出生	23	{ 男 11	287
		{ 女 12	(11)
死亡	6	{ 男 3	96
		{ 女 3	{ 51
死産			18
婚姻			91
離婚			9

話百産増

方位に迷うな

方位を以て禍福を論じ、月日を  
以て吉凶を説く事が古よりある  
世の人はこれを信ずるが、  
道理のある筈がない。禍福吉凶  
は方位日月などの関する処では  
ない。之を信ずるのは迷である  
禍福吉凶は心の心と行いと  
の招く処であり、又過去の因縁  
によつて来るものもある。必ず迷

成人の日

一月十五日  
おとなになつたことを自覚し  
自ら生きぬこうとする青年を  
祝ひあげます。  
成人式は午前十時から公民館で  
行います。  
独立国民は必ず  
祝日に国旗をたてましょう。



育児講座 (その五)  
乳児結核

幸田村委託助産婦会

昔は子供には結核がないと俗に考  
えられたのは、大人に見るような咳  
や痰を出す慢性の肺結核症型で起ら  
ないで、膈膜炎やその他症状で現れ  
たためであらう。

つてはならない。盗賊は鬼門か  
ら入つて来るのではない。悪日  
にのみ来るのではない。締りを  
忘れたら賊は入り来ると思え。  
火の用心を忘れたら火災は起る  
であらう。ただ積善の家に余慶  
ありということこそ真実である  
しかし尚桃栗三年柿八年という  
ように因果にも應報にも遅速の  
あことを忘れてはならない。  
(二宮尊徳翁の言葉)

現在では乳児結核の恐しさは、膈  
膜炎をおこすことによつて知られて  
いるが、一般的には未だ無関心に近  
い。それは感染から発病までの段階  
が判つたのは、そんなに古いこと  
はないからである。  
結核病の診断方法の進歩によつ  
て乳児結核も漸くツベルクリン反應  
やレントゲン検査によつて感染と発

病と経過について知る事ができた。  
乳児の結核は割合に少いから、注  
意されないが、その家族内に結核患  
者がある時は必ず感染して不幸な運  
命を辿る特殊性がある。

乳児結核の特徴は  
1.殆ど全部が家族内の感染である。  
2.感染したら発病しやすい。  
3.発病したら経過が早く悪化し易い  
予防の三大原則は、感染予防、発  
病予防、悪化予防であるが、乳児結  
核はその特性から感染予防に重点を  
おくべきである。

乳児結核は勿論結核菌の感染によ  
つておこる。決して遺傳ではない。生  
後外界から感染したためにおこる、  
生後間もなく結核になつた乳児は  
一見遺傳ではないかと疑われるかも  
しれないが、それは結核の母親から  
生後直ぐ感染したのである。結核は  
生後第一日から感染する。結核の母  
親から生まれて、僅か数時間だけ母  
親と一緒にいて感染した例もある。  
唯一回の哺乳で感染した例もある。  
だから感染予防が最も重要なこと  
である。その予防の第一は隔離であ  
る。即ち患者と乳児を隔離すること  
で、患者を入院させることが最善で  
あるが、できない場合は乳児を結核  
のない親戚か知己に預けるか、里子  
に出すか、乳児院に預ける。  
次にBCGの接種も予防の有力な  
武器である。生れてすぐ接種しても  
何の副作用もないから生後第一日か  
ら接種可能である。

短歌

雑詠

杉浦亮一選

蕪の実 芦谷 丹羽 唱吾

山雀のこぼせし麻の実のいくつ冷たき朝の光を集む

麻の実はそれぞれ光澤をたもちいて個の相違などありと思はず

小さな麻の実の粒に生命ありて土に還らば芽吹かむものを

掌に麻の実いくつ集めをりわれのひと日が始まる朝明

山雀に食はれざりにし麻の実に芽ぶく日などはありと思はず

○ 深溝 神谷よしゑ

美しく咲きつづけりと見たりしが今朝の時雨に老いし白菊

○ 萩 内藤 待月

遠花火見えて消えたり庭先きの金木犀は闇に香り来

停電のくらきに堪ふるしばしにて窓邊の月にもの見え初む

○ 長嶺 中村 光直

耳遠き友はひたすら書を讀めり火鉢場の談笑に仲間入りせず

○ 深溝 永井 一蝶

故郷に歸りし心すがしきに老母の愚痴の今宵ついにまた

一つ一つさや枯れの稻を切りにつつ

みのよかれと心に祈る

○ 大草 小川 きみ

深夜の鎌倉に灯点じて中隅に餌をあさるとり見まもりて飽かず

廻り来し置薬屋がくれし紙風船にのみがへり来る幼な日の追憶

しばしにて子のあき捨てし紙風船に亮薬の名の文字のこまかき

浅野梨郷先生を迎えて

大草 足立 竹友

広福寺の雁の間に聴く歌の教こころこまごまと師のみ聲あり

御慈愛にひきつけられつ歌の教寺の広間に夜は更けてゆく

○ 高崎 滋賀 露生

に春のあたたかき日ざし一つばいに家に照りわたり何もせずあり

新らしき平和みちたるわが村の永久に榮ゆる道ゆたかなり

「文化講座」

俳句会のお知らせ

一、幸田村公民館主催

一、講師 C.K.俳句選者

一、橋本 兼二氏

一、時 二月 中旬

一、所 中央公民館

一、投句 当季雑詠三句 (二月五日〆切)

公民館宛送付のこと。

○投句者には日時確定次第お知らせ致します。

思い出

日本の歩んだ七年史

講和条約調印！批准手續完了！

この世紀の感激の瞬間、八千万同胞の胸中を去来するものは敗戦日本の歩んだ七年間の思い出である。

◎二十年、どうしたらよいか、七千万が自己を忘却した年でした。

◎二十一年、贈られた民主主義で、男女平等の世の中になつたが？

◎二十二年、敗戦後のゆがんだ世相そのまゝのような年でした。

◎二十三年、殺人、疑獄事件頻発す果して東条の罪か？社会の罪か？

◎二十四年、ストと殺人強盗に明け暮れた中に一筋の光明はあつた。

◎二十五年、超アブレ事件下山事件頻発に講和への希望も空しく

◎二十六年、講和なる！ 悲しみに満ちた思い出の七年よ、さようなら

幾つかの楽しい思い出もあつたが総じて苦しみと悲しみにみちた七年の暗い歩みであつた、それは毎日が死に直面してゐる感じであつた。

われわれの血と涙の勳哭によつて購ひ得た平和の慶びを契機に、われわれは喪失した日本人としての権威と良心をとり戻し、恒久の世界平和と人類の幸福のために貢献しよう。

—KK.SS—

幸田 興俳

新年抄

深溝分館

「サキユ」

○参道を歸山の竹や夕時雨 雅好

○沓え胸に気合は強し弓始 美篁

「寒き夕」

○毋無き旅鳥なく 一蝶

○病母に保温装置せる 美篁

○牛舎を愛の寝薬増す

「夢がさめ」

○慈愛の懐え戻る 鬼童

「名譽」

○文化功勞章光る 香花

○郷土史の口繪に座る 湖東

「喜び」

○幸福に新春唄う 涼花

「日なた」

○俳味に梅の花開く 蓮月

○水仙の精華が薫る 芝仙

○紅南天に倭鶏遊ぶ 一二三

○繪絹干す閑秀若い 可笑

「鶏の聲」

○辰年の黎明告げる 銚月

○神苑に初明け引く 源水

次集課題 (〆切一月末日)

ウニツ 梅の庭 笑を浮べ 平和

若妓 湖畔 計十二句

